

団体名	横浜シティ・エア・ターミナル株式会社	所管課	都市整備局都市交通課
-----	--------------------	-----	------------

協約（団体の経営向上等に向けた団体及び市の取組）

2 財務の改善に向けた取組

団体の目指す将来像		当期純利益の黒字継続				
現在の取組		平成25年8月の高速乗合バス制度改革を契機とした新規バス路線の誘致による収益増と付帯事業の損益改善に取り組んでいます。				
方針期間の主要目標		①当期純利益の黒字継続	25年度実績	①当期純利益39百万円	目標数値	①当期純利益36百万円
具体的取組	団体	成田空港線の減便など空港線は厳しい環境ですが、バスバースを効率的に活用した新規路線誘致などの取組を進め、バスの発着回数拡大を図るとともに、今後増加が見込まれるインバウンド旅客の取り込みを進め、総利用客数目標を達成することで、収入の確保と経営の安定を図ります。				
具体的取組	市					

3 業務・組織の改革

団体の目指す将来像		効率的な業務運営と法令順守の徹底				
現在の取組		会社設立以来初めて、平成25年度から従業員より役員の登用を行いました（従業員兼務役員）				
方針期間の主要目標		①人員配置計画の見直し ②コンプライアンス意識の定着と従業員意識調査の実施	25年度実績	①新制度対応に伴う増員等の実施 ②コンプライアンス研修実施（1回）従業員意識調査（1回）	目標数値	①策定・実施（効率的な業務運営の達成） ②実施
具体的取組	団体	空港の24時間化対応などに向けて、適正な人員配置計画を策定、実施します。また、業務執行体制強化のため研修を実施するなど、コンプライアンス意識を高める取組を進めます。				
具体的取組	市					

公的な役割を担う外郭団体としての
団体と市との円滑な連携・協力体制の構築に関する取組

27年度以降の関与のあり方検討を踏まえて記載します。